

■ 本書について

◎本書は、日整連が令和5年に発行した教科書「三級自動車整備士（総合）」に対応した問題集です。

◎問題は、日整連の次の登録試験の公表問題から収集しました。

- 三級自動車ガソリン・エンジン
- 三級自動車ディーゼル・エンジン
- 三級自動車シャシ
- 三級2輪自動車

◎現在、「三級自動車整備士（総合）」の登録試験等は実施されていないため、本書の編集にあたり、概ね過去6回分の公表問題を以下のように収録しています。

1. 教科書「三級自動車整備士（総合）」に収録されていない部分の問題は、原則として除外
2. 教科書「三級自動車整備士（総合）」に新たに追加収録されている部分で、類似の公表問題がない場合は、編集部で作成した問題を収録
3. 類似問題が複数ある場合は、いずれか1つを収録
4. 公表問題における4つの選択肢問題は「○×方式」、穴埋め問題は「記述式（適切な数値や語句を記入）」に変更して収録
5. 法令問題は未収録

◎また、本書のそれぞれのページに、教科書の参照ページを掲載しました。学習の参考にしてください。

令和7年6月 公論出版 編集部

書籍の訂正について

本書の記載内容について正誤が発生した場合は、弊社ホームページに正誤情報を掲載しています。

株式会社公論出版 ホームページ

書籍サポート/訂正

URL : https://kouronpub.com/book_correction.html



本書籍に関するお問い合わせ



メール

問合せフォーム



FAX

03-3837-5740

必要事項

- ・お客様の氏名とフリガナ
- ・FAX 番号（FAX の場合のみ）
- ・書籍名 ・該当ページ数 ・問合せ内容

※回答までにお時間をいただく場合がございます。ご了承ください。

目 次

1 自動車の機械要素 [1]	4	35 エンジン／電子制御装置「ガソリン」[1]	38
2 自動車の機械要素 [2]	5	36 エンジン／電子制御装置「ガソリン」[2]	39
3 基礎的な原理・法則 [1]	6	37 エンジン／電子制御装置「ガソリン」[3]	40
4 基礎的な原理・法則 [2]	7	38 エンジン／電子制御装置「ジーゼル」[1]	41
5 基礎的な原理・法則 [3]	8	39 エンジン／電子制御装置「ジーゼル」[2]	42
6 基礎的な原理・法則 [4]	9	40 エンジン／電子制御装置「ジーゼル」[3]	43
7 基礎的な原理・法則 [5]	10	41 エンジン／排出ガス浄化装置 [1]	44
8 基礎的な原理・法則 [6]	11	42 エンジン／排出ガス浄化装置 [2]	45
9 基礎的な原理・法則 [7]	12	43 エンジン／排出ガス浄化装置 [3]	46
10 基礎的な原理・法則 [8]	13	44 エンジン／車載式故障診断装置	47
11 エンジン／エンジン本体 [1]	14	45 エンジン電気装置／バッテリー [1]	48
12 エンジン／エンジン本体 [2]	15	46 エンジン電気装置／バッテリー [2]	49
13 エンジン／エンジン本体 [3]	16	47 エンジン電気装置／バッテリー [3]	50
14 エンジン／エンジン本体 [4]	17	48 エンジン電気装置／バッテリー [4]	51
15 エンジン／エンジン本体 [5]	18	49 エンジン電気装置／始動装置	52
16 エンジン／エンジン本体 [6]	19	50 エンジン電気装置／充電装置 [1]	53
17 エンジン／エンジン本体 [7]	20	51 エンジン電気装置／充電装置 [2]	54
18 エンジン／エンジン本体 [8]	21	52 エンジン電気装置／点火装置 [1]	55
19 エンジン／エンジン本体 [9]	22	53 エンジン電気装置／点火装置 [2]	
20 エンジン／エンジン本体 [10]	23	& 予熱装置	56
21 エンジン／エンジン本体 [11]	24	54 シャシ／自動車の運動性能・	
22 エンジン／エンジン本体 [12]	25	動力伝達装置 [1]	57
23 エンジン／整備 [1]	26	55 シャシ／動力伝達装置 [2]	58
24 エンジン／整備 [2]	27	56 シャシ／動力伝達装置 [3]	59
25 エンジン／整備 [3]	28	57 シャシ／動力伝達装置 [4]	60
26 エンジン／潤滑装置 [1]	29	58 シャシ／動力伝達装置 [5]	61
27 エンジン／潤滑装置 [2]	30	59 シャシ／動力伝達装置 [6]	62
28 エンジン／潤滑装置 [3]	31	60 シャシ／動力伝達装置 [7]	63
29 エンジン／冷却装置 [1]	32	61 シャシ／動力伝達装置 [8]	64
30 エンジン／冷却装置 [2]	33	62 シャシ／動力伝達装置 [9]	65
31 エンジン／冷却装置 [3]	34	63 シャシ／動力伝達装置 [10]	66
32 エンジン／冷却装置 [4]	35	64 シャシ／動力伝達装置 [11]	67
33 エンジン／吸排気装置 [1]	36		
34 エンジン／吸排気装置 [2]	37		

65	シャシ／アクスル及びサスペンション [1] ……	68
66	シャシ／アクスル及びサスペンション [2] ……	69
67	シャシ／アクスル及びサスペンション [3] ……	70
68	シャシ／アクスル及びサスペンション [4] ……	71
69	シャシ／ステアリング装置 [1] ……………	72
70	シャシ／ステアリング装置 [2] ……………	73
71	シャシ／ステアリング装置 [3] ……………	74
72	シャシ／ステアリング装置 [4] ……………	75
73	シャシ／ホイール及びタイヤ [1] ……………	76
74	シャシ／ホイール及びタイヤ [2] ……………	77
75	シャシ／ホイール・アライメント [1] ……	78
76	シャシ／ホイール・アライメント [2] ……	79
77	シャシ／ホイール・アライメント [3] ……	80
78	シャシ／ブレーキ装置 [1] ……………	81
79	シャシ／ブレーキ装置 [2] ……………	82
80	シャシ／ブレーキ装置 [3] ……………	83
81	シャシ／フレーム及びボデー [1] ……………	84
82	シャシ／フレーム及びボデー [2] ……………	85
83	シャシ電気装置／灯火装置……………	86
84	シャシ電気装置／計器……………	87
85	シャシ電気装置／冷暖房装置 [1] ……	88
86	シャシ電気装置／冷暖房装置 [2] ……	89
87	燃料及び潤滑剤 [1] ……………	90
88	燃料及び潤滑剤 [2] ……………	91
89	点検・整備 [1] ……………	92
90	点検・整備 [2] ……………	93
91	参考2：サーキット・テストの活用 [1] ……	94
92	参考2：サーキット・テストの活用 [2] ……	95
93	参考2：サーキット・テストの活用 [3] ……	96

1 自動車の機械要素 [1]

■ ねじ (P19～21)

【1】 ボルトやナット類に関する記述として、適切なものには○を、適切でないものには×を記入しなさい。

- ☒ 1. 「M16×1.5」と表される「六角ボルト」について、Mはメートルねじを示している。
- ☒ 2. メートルねじのねじ山の角度は、45°である。
- ☒ 3. 「M16×1.5」と表されるねじ山のピッチは1.5mmである。
- ☒ 4. 「M16×1.5」と表される「六角ナット」のめねじの谷の径は16mmである。
- ☒ 5. 「M16×1.5」と表される「六角ボルト」のおねじの外径は16mmである。
- ☒ 6. 「M16×1.5」と表される「六角ボルト」は、口径16mmのスパナを使用する。
- ☒ 7. 戻り止めナット（セルフロックング・ナット）を緩めた場合は、原則として再使用は不可となっている。
- ☒ 8. スプリング・ワッシャは、ボルトやナットの緩み止めなどに用いられる。
- ☒ 9. ヘキサロビュラ・ボルトは、ボルトの頭部に星形の穴を開けたもので、使用する場合は、ヘキサロビュラ・レンチという特殊なレンチを用いる。
- ☒ 10. 溝付き六角ナットは、締め付けたあと、ボルトの穴と溝に合う割りピンを差し込み、ナットが緩まないようにしている。
- ☒ 11. スタッド・ボルトは、棒の一端だけにねじが切っており、そのねじ部が機械本体に植え込まれている。

■ ベアリング (P22～23)

【2】 ベアリングに関する記述として、適切なものには○を、適切でないものには×を記入しなさい。

- ☒ 1. 一般にプレーン・ベアリングは、油膜を保つ工夫が施されているため、ローリング・ベアリングに比べて摩擦が少ない。
- ☒ 2. スラスト・ベアリングには、ボール型、ニードル・ローラ型などがあり、トランスミッションなどに用いられている。
- ☒ 3. 半割り形プレーン・ベアリングは、クランクシャフトなどに用いられており、ラジアル方向（軸と直角方向）の力を受ける。
- ☒ 4. アンギュラ・ベアリングには、ボール型、テーパ（円すい状）・ローラ型などがあり、アクスル、ディファレンシャルなどに用いられている。
- ☒ 5. ローリング・ベアリングのうちアンギュラ・ベアリングは、ラジアル方向（軸と直角方向）だけの荷重を受けている。
- ☒ 6. ローリング・ベアリングのうちテーパ・ローラ型は、ラジアル・ベアリングの1つである。

【3】 ローリング・ベアリングに関する次の文章の（ ）に当てはまる適切な語句を記入しなさい。

- ☒ ローリング・ベアリングのうち、ラジアル・ベアリングの種類は、（ ）型、（ ）型、（ ）型などがある。

.....

【1】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

【2】

1	2	3	4	5	6

【3】

--	--	--

15 エンジン／エンジン本体【5】

■ シリンダ及びシリンダ・ブロック (P57～59)

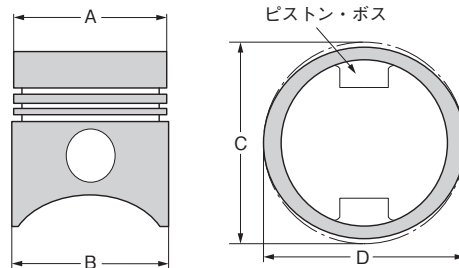
【1】シリンダ及びシリンダ・ブロックに関する記述として、適切なものには○を、適切でないものには×を記入しなさい。

- ☒ 1. シリンダは、ピストンやシリンダ・ヘッドとともに燃焼室を形成している。
- ☒ 2. 空冷式エンジンのシリンダには、外側に冷却フィンが設けられている。
- ☒ 3. 水冷式エンジンのシリンダには、ウォータ・ジャケットが設けられている。
- ☒ 4. 一般にシリンダ・ライナ上面は、シリンダ・ブロック上面よりやや突き出ている。
- ☒ 5. 一般にシリンダ・ライナ上面は、シリンダ・ブロック上面と同じ高さに組み付ける。
- ☒ 6. 乾式ライナは、アルミニウム合金製の薄い円筒状のもので、シリンダに圧入又は挿入されている。
- ☒ 7. 乾式ライナは、特殊鋳鉄製の薄い円筒状のもので、シリンダに圧入又は挿入されている。
- ☒ 8. 湿式ライナの外周面下部には、オイル濡れ防止用のゴム・パッキンが取り付けられている。
- ☒ 9. 湿式ライナの外周面下部には、水漏れ防止用のゴム・パッキンが取り付けられている。
- ☒ 10. 乾式ライナは、シリンダ・ライナの外周面が直接冷却水に触れている。
- ☒ 11. シリンダ・ブロックは、鋳鉄製や特殊鋳鉄製及びアルミニウム合金製のものがある。
- ☒ 12. シリンダ・ブロックには、一般にマグネシウム合金が用いられている。

■ ピストン (P60～61)

【2】図に示すアルミニウム合金製ピストンに関する次の文章の（ ）に当てはまる適切な語句を記入しなさい。

- ☒ 1. アルミニウム合金製ピストンは、AよりもBの径の方が（イ）、CはDの径より（ロ）作られている。



- ☒ 2. スリッパ・スカート・ピストンにおいて、ボス方向のスカート部が切り欠いてある理由は、（イ）ためである。

【1】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

【2】

1		2	
イ	ロ	イ	

54 シャシ／自動車の運動性能・動力伝達装置【1】

■ 運動性能の原理 (P161～164)

【1】自動車の運動性能の原理に関する記述として、適切なものには○を、適切でないものには×を記入しなさい。

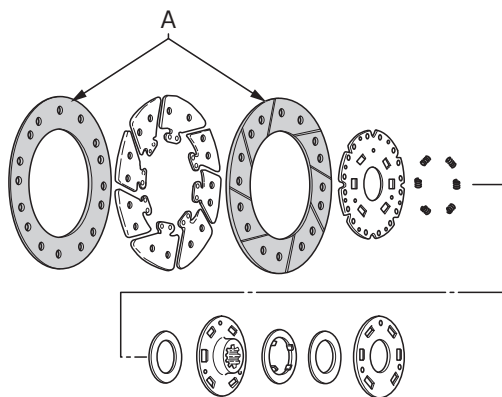
- ☐1. 走行抵抗は、車速が増すごとに大きくなる。
- ☐2. 制動力は、タイヤと路面との摩擦力が大きいほど、大きくなる。
- ☐3. 自動車は、車両の質量が大きいほど、また坂の勾配や加速が急なほど、大きな駆動力が必要になる。
- ☐4. 駆動力は、2速、3速と変速するに連れて、大きくなる。
- ☐5. 自動車の旋回時は、遠心力とコーナリング・フォースが釣り合った状態である。

■ クラッチ本体（乗用・トラック等）(P167～170)

【2】ダイヤフラム・スプリング式クラッチに関する記述として、適切なものには○を、適切でないものには×を記入しなさい。

- ☐1. ダイヤフラム・スプリングは、複板式より単板式のほうが、伝達トルク容量を大きくできる。
- ☐2. クラッチ・ディスクは、単板式より複板式のほうが、伝達トルク容量を大きくできる。
- ☐3. ピボット・リングは、ダイヤフラム・スプリング式クラッチ（プッシュ式）の構成部品である。
- ☐4. レリーズ・ベアリングには、スラスト式のボール・ベアリングが用いられている。
- ☐5. ダイヤフラム・スプリングのばね力は、クラッチ・ディスクが摩耗すると低下する。
- ☐6. プレッシャ・プレートは、アルミニウム合金製で回転に対してのバランスが取られている。

☐【3】図に示すクラッチ・ディスクのAの部品名称を答えなさい。



【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5	6

【3】

--

■ 燃料 (P333)

【1】自動車用燃料に関する記述として、適切なものには○を、適切でないものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. ガソリンや軽油は、各種の炭化水素から構成されている。
- ☐ 2. ガソリンの主成分は炭化水素である。
- ☐ 3. ガソリンは、揮発性に優れ、引火点が低く、オクタン価が高いことが要求される。
- ☐ 4. ガソリンのオクタン価は、ノッキングしにくい性質を表すもので、この数値の大きいものほどノッキングを起こしにくい。
- ☐ 5. ガソリンのオクタン価は、1号（プレミアム）が96.0以上、2号（レギュラ）が89.0以上と定められている。
- ☐ 6. ガソリンは、オクタン価 91 のものより 100 のものの方がノッキングを起こしやすい。
- ☐ 7. 軽油は、ガソリンよりやや重く、適度な粘度をもち、ガソリンに比べて着火性がよく、流動点によって各種のものがある。
- ☐ 8. 軽油は、適度な粘度をもち、ガソリンに比べてやや重く、着火性がよい。
- ☐ 9. 軽油には、着火性を表すセタン価がある。
- ☐ 10. 特1号と1号の軽油は、着火性を表すセタン価が50以上と JIS で定められている。
- ☐ 11. 軽油の流動点とは、軽油を静止させ冷却したときに流動し得る最低の温度のことである。
- ☐ 12. 一般に軽油は、着火点が250～350℃で、やや黄色味を帯びている。
- ☐ 13. 寒冷地では、一般に軽油は流動点の低い特1号又は1号が用いられている。

■ 潤滑の目的 (P333～334)

【2】潤滑剤の「緩衝作用」に関する記述として、適切なものには○を、適切でないものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. 物体が接触する面に油膜をつくることにより、摩擦を少なくする。
- ☐ 2. 圧力を分散させると共に衝撃力を吸収する。
- ☐ 3. 摩擦熱を吸収して物体を冷却する。
- ☐ 4. ごみや金属粉などを分散浮遊させて、油路に堆積しないようにする。

【3】潤滑時の作用（目的）に関する記述として、適切なものには○を、適切でないものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. 緩衝作用とは、圧力を分散させるとともに衝撃力を吸収することをいう。
- ☐ 2. 冷却作用とは、摩擦熱を吸収して物体を冷却することをいう。
- ☐ 3. 清浄作用とは、接触面に油膜をつくることによって摩擦を少なくすることをいう。
- ☐ 4. 密封作用とは、潤滑油がシリンダ及びピストンとピストン・リングの隙間に入り込むことによって、気密をさらによくすることをいう。

【1】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

【2】

1	2	3	4

【3】

1	2	3	4